

宇都宮市立峰小学校第6学年児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○●「朝食を毎日食べていますか」の設問は90%以上の児童が「している」に回答しており、市・全国平均を上回る。しかし、「あまり食べていない」という児童も3%程度いる。家庭への啓発を継続していく必要がある。

○「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか」の設問に対して、90%を超える児童が「当てはまる」に回答し、市・全国平均を大きく上回る。「最後までやり遂げることの大切さ」を指導してきたことや「成功体験を多く積ませたこと」の成果と思われる。

○「自分には、よいことがありますか」の設問への肯定的回答は90%を超え、市・全国平均を大きく上回る。全体的に、自己肯定感が高いと言える。今後も授業の中で自己肯定感を育むことを常に意識して指導する。

○「学校に行くのは楽しいと思いますか」の設問への肯定的回答は90%を超え、市・全国平均を大きく上回る。「そう思わない」の回答は0%であり、学校が児童にとって楽しいところになっていると言える。今後も、教職員一同で楽しい学校環境づくりに努力したい。

○「学校で好きな授業がありますか」の設問への肯定的回答は100%であった。今後も児童が「勉強が好き」「勉強が楽しい」と思える授業を展開できるよう、各教員が教材研究に努め、教員同士で指導法を研究し合える環境を整えたい。

●「普段何時ごろに寝ますか」の設問への回答で「午後10時以降」に寝ている児童の割合が5割を超え、市・全国の平均を超えている。睡眠が十分でない児童は、学習・生活両面において、集中が続かない傾向がある。睡眠の大切さ・生活習慣を整えることの大切さを繰り返し指導していく必要がある。